



なかね 大



一人のために、未来のために！
子どもの命と笑顔を守ります！

令和4年第1回定例会

令和4年2月16日～3月15日まで開かれた令和4年第1回港区議会定例会での公明党議員団の代表質問と、その間に開かれた令和4年度予算特別委員会での質疑の要旨をご紹介します。



特殊詐欺防止の取組について

❗ 現在、区が取り組んでいる自動録音装置の無償貸与に加え、最新のAIを活用した機器の導入を検討し、更なる被害防止に努めるべきと考えるがいかがか。

▲ 現在貸与している自動録音装置は、AIを活用した機器との併用ができないことに加え、費用負担や運用面でも課題があります。今後、他自治体の導入事例など調査し、導入の可能性について研究してまいります。

下請けGメンの周知について

❗ 中小企業庁が取り組む下請けGメンの周知を図り、各種団体と連携し中小企業の権利擁護への取組をさらに進めていただきたいと考えるがいかがか。

▲ 区の相談窓口や出前講座でのチラシ配布などで周知を図るほか、そうした不当な扱いを受けるなどの相談があった場合には、丁寧に状況を聞き取り、必要な支援につなげてまいります。

子ども中心の社会づくりについて

❗ 国での子ども家庭庁創設に向けた動きや、東京都でこども基本条例が制定されるなど、こども中心の社会づくりが進められる中、港区としてどのように取り組んでいくのか。

▲ 区は、児童相談所と子ども家庭支援センター、母子生活支援施設が一体となった子ども家庭総合支援センターの開設により、妊娠期から児童の自立まで切れ目のない支援を行っております。今後も、安心して子育てができ、未来を担う全ての子どもたちが健やかに成長できる地域共生社会の実現に取り組んでまいります。

下請けGメンとは？

2017年から始まった中小企業庁の取組で、取引調査員(下請けGメン)による聞き取り調査を行うもの。秘密保持を前提とし、伺った話を、国や業界が定めるルール作りに反映させるなどし、適正取引に向けた取組を強く促す。調査時に、下請法違反に該当するような悪質な事例が見受けられた元請けや発注元企業に対しては、「勧告」「指導」「罰金」の強い制裁が加えられます。2022年度にはこうした中小企業の権利擁護の取組がより強化されることとなります。

部活動指導員について

❗ 部活動指導員制度が始まってからの評価と、課題に対する今後の取組について伺う。

▲ 部活動指導員を配置することで、教職員の業務負担軽減や充実した活動が図ることができました。一方で、会計任用職員として採用されるため、勤怠管理の煩雑さによる負担や、人員の確保の困難さが課題として生じていました。令和4年度から、委託事業とすることでそうした課題の解決を図り、より充実した活動となるよう取組んでまいります。



若者の投票率向上の取組について

❗ 20歳～39歳までを中心にした若年層の投票立会人の起用促進を積極的に図るべきと考えるがいかがか。

▲ 今後、若者の投票率向上につながるよう、投票立会人の積極的な起用について、他の自治体の取組や成果を調査研究してまいります。



陶磁器・ガラス類の資源回収について

❗ 陶磁器・ガラス類のリサイクルを促進させるため、区内2カ所の拠点回収をさらに拡充するべきと考えるがいかがか。

▲ 令和3年度から開始した拠点回収に加え、令和4年度からは地域の集積所に不燃ごみとして出された陶磁器類等を選別して回収し、更なるリサイクルのため再資源化してまいります。



「自転車損害賠償保険加入とヘルメットの購入促進の助成」が実現！

区議会公明党は平成30年度決算特別委員会などで、子どもにヘルメットを装着させていない場合に親が責任を負う場合があることや、万が一の備えとして自転車損害賠償保険の加入促進について対策を求めて参りました。この度、子どもの自転車用ヘルメットを購入(令和4年1月1日以降)し、自転車損害賠償保険等に加入した子ども(13歳未満)の保護者の申し込みにより、区内共通商品券(スマイル商品券)2,000円分をお渡しすることになりました。



ブロック塀等除却・設置工事支援事業に「アドバイザー派遣制度の導入」と「除却・設置工事費助成対象の拡大」が実現！

平成31年度予算特別委員会で地震などでブロック塀倒壊による被害を防ぐため、区が定めている塀の除却・設置工事支援対象の高さ基準(1.2メートル以上)の緩和を求め提案し、以後、機会あるごとに議会で訴え続けてまいりました。その結果、令和4年度より、新規に「アドバイザー派遣制度」を導入し危険と判断された場合、これまで対象外であった高さの塀についても助成対象として拡大されることになりました！



「道路通報システム」と「道路損傷検出システム」の本格運用が実現！

スマートフォンアプリを活用して、道路の損傷を直接投稿できる「道路通報システム」と、車両に搭載したドライブレコーダーにより、AIが損傷部分を自動検出する「道路損傷検出システム」の導入について、平成30年度決算特別委員会で提案し、以降、機会あるごとに議会で訴え求めてまいりました。その結果、令和4年度より新規事業として両システムの本格運用が開始されることになりました！



「禁煙外来治療費助成対象者が拡大されます！」

子ども及び妊婦の受動喫煙を防止し自身の健康づくりを支援する目的で、平成30年6月から、20歳以上の区民で18歳未満の子ども又は妊婦と同居している方及び妊婦本人を対象として、禁煙外来で治療を行った際、上限1万円の補助が受けられる事業として開始されました。事業開始の翌年度には、区議会公明党として一般喫煙者にも対象を広げるべきと訴えていましたが、その結果、本年4月から20歳以上の区民に拡大されることとなりました。



「高齢者補聴器購入費助成が実現！」

区議会公明党では、平成25年第3回定例会で高齢者の日常生活用品として補聴器の支援の必要性を訴えて以来、購入費用の助成を求めてまいりました。区は令和4年度に60歳以上の高齢者が補聴器を購入する際の費用助成することを決定。また購入の際に必要な医師の確認書類作成費や、購入後のアフターメンテナンスも区が負担することとしました。これからも、高齢者がさらにいきいきと安心して暮らせるよう取り組んでまいります！



地域の声を実現しました！



三田2丁目の歩道整備

「大木の根が盛り上がり、歩道に亀裂が入って凸凹になっているので整備してほしい」との声を受けました。すぐに担当課に話し、高齢者やベビーカーの転倒などの危険性があることから早急な補修をお願いしました。結果、1週間後には整備工事を行い、きれいに補修が完了しました！担当課からは、今後も根上がりについては注視し、地域の方と相談しながら対応していくと回答をいただいています！



ゼロカーボンシティは2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロを実現するまちのことで、港区ではその実現を目指し、街の緑化面積の拡充や事業者へのCo2排出削減の取組支援、区有施設での電力を再生可能エネルギー100%使用などに取り組んでいます。

大ちゃんレポート

芝浦港南地区総合支所、港区スポーツセンター等が入る複合施設、みなとパーク芝浦の屋上に設置された太陽光パネル、コージェネレーションシステム等、「ゼロカーボンシティ」実現のための港区が取り組む事業を視察しました！屋上一面に広がる太陽光パネルは圧巻です。

